



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日

上場会社名 リンテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7966 URL <https://www.lintec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 真
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部長 兼 経理部長 (氏名) 柴野 洋一 (TEL) 03-5248-7713
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	69,497	11.4	5,393	△15.8	6,931	△0.1	5,159	△5.8
2022年3月期第1四半期	62,377	11.3	6,405	80.7	6,935	99.4	5,478	126.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 10,700百万円(5.5%) 2022年3月期第1四半期 10,146百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	74.51	74.46
2022年3月期第1四半期	75.78	75.72

(注) 1. 2022年3月期第1四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1000%を超えるため「—」と記載しております。

2. 2022年3月期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	303,865	214,164	70.3
2022年3月期	302,865	209,758	69.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 213,611百万円 2022年3月期 209,212百万円

(注) 2023年3月期第1四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	39.00	—	49.00	88.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	44.00	—	44.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	11.0	21,500	△0.4	21,500	△5.3	15,500	△6.9	226.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	76,676,440株	2022年3月期	76,659,440株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	8,051,499株	2022年3月期	6,833,643株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	69,251,210株	2022年3月期1Q	72,304,555株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ (<https://www.lintec.co.jp>) に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は米国子会社での買収効果もあり前年同期比11.4%増の69,497百万円、営業利益はパルプを含む原燃料価格上昇の影響を大きく受け前年同期比15.8%減の5,393百万円、経常利益は円安に伴う為替差益もあり前年同期比0.1%減の6,931百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比5.8%減の5,159百万円となりました。

なお、前連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

(印刷材・産業工材関連)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	31,229	38,550	7,321	23.4
印刷・情報材事業部門	23,528	31,129	7,601	32.3
産業工材事業部門	7,700	7,420	△280	△3.6
営業利益	757	382	△374	△49.4

当セグメントの売上高は38,550百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益は原燃料価格や物流コストの上昇影響を大きく受け382百万円（同49.4%減）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

<印刷・情報材事業部門>

シール・ラベル用粘着製品は、国内ではペットボトル用ラベルや各種環境配慮製品で新規採用が進んだほか、宅配・物流関連の需要が増加したことにより堅調に推移しました。海外では米国での買収効果もあり大きく伸ばしました。この結果、当事業部門の売上高は31,129百万円（前年同期比32.3%増）となりました。

<産業工材事業部門>

海外ではウインドーフィルムや自動車用粘着製品などが堅調に推移しましたが、国内では自動車の減産影響を受けウインドーフィルムや工業用粘着フィルムの需要が大きく減少しました。この結果、当事業部門の売上高は7,420百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

(電子・光学関連)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	22,592	22,266	△326	△1.4
アドバンストマテリアルズ事業部門	16,816	16,474	△342	△2.0
オプティカル材事業部門	5,776	5,792	15	0.3
営業利益	4,903	5,023	119	2.4

当セグメントの売上高は22,266百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は5,023百万円（同2.4%増）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

<アドバンストマテリアルズ事業部門>

半導体関連粘着テープおよび関連装置は堅調に推移したものの、積層セラミックコンデンサ関連テープはスマートフォン用の需要低迷や自動車の減産影響を受け低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は16,474百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

<オプティカル材事業部門>

光学ディスプレイ関連粘着製品は、大型テレビやスマートフォン用などの需要低迷の影響を受けましたが、車載用タッチパネル製品が伸長しました。この結果、当事業部門の売上高は5,792百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

(洋紙・加工材関連)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	8,555	8,680	124	1.5
洋紙事業部門	4,056	4,036	△19	△0.5
加工材事業部門	4,499	4,643	144	3.2
営業利益又は営業損失(△)	729	△27	△756	—

当セグメントの売上高は8,680百万円（前年同期比1.5%増）、利益面においてはパルプを中心とした原燃料価格上昇などの影響を大きく受け27百万円（同一%）の営業損失となりました。

当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

<洋紙事業部門>

カラー封筒用紙は前年同期並みとなったほか、耐油耐水紙がテイクアウト需要の増加などにより堅調に推移しました。一方、工業用特殊紙は中国向け需要が減少したことにより低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は4,036百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

<加工材事業部門>

合成皮革用工程紙は国内外で自動車の減産影響を受け需要が低迷しましたが、剥離紙は一般粘着製品用、電子材料用が堅調に推移し、炭素繊維複合材料用工程紙もスポーツ・レジャー用の需要増加により順調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は4,643百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

前連結会計年度末において企業結合に係る暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定したため、前連結会計年度との比較にあたっては暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は303,865百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,000百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- ・「現金及び預金」の減少 △7,773百万円
- ・「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加 1,304百万円
- ・「棚卸資産」の増加 4,240百万円
- ・「有形固定資産」の増加 3,161百万円

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は89,701百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,406百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「支払手形及び買掛金」の増加	1,092百万円
・「未払法人税等」の減少	△2,095百万円
・「賞与引当金」の減少	△1,356百万円

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は214,164百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,406百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「利益剰余金」の増加	1,738百万円
・「自己株式」の減少	△2,903百万円
・「為替換算調整勘定」の増加	5,325百万円

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に公表した業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,416	47,642
受取手形、売掛金及び契約資産	62,545	63,849
棚卸資産	52,709	56,949
その他	11,677	12,171
貸倒引当金	△123	△137
流動資産合計	182,224	180,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,592	38,832
機械装置及び運搬具（純額）	30,950	31,387
土地	11,855	11,999
建設仮勘定	4,129	6,061
その他（純額）	4,992	5,401
有形固定資産合計	90,521	93,682
無形固定資産		
のれん	16,647	16,849
その他	1,974	1,935
無形固定資産合計	18,622	18,785
投資その他の資産		
その他	11,589	11,010
貸倒引当金	△93	△88
投資その他の資産合計	11,496	10,922
固定資産合計	120,640	123,389
資産合計	302,865	303,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,309	45,402
短期借入金	1,292	1,347
1年内返済予定の長期借入金	1,346	1,571
未払法人税等	4,210	2,114
賞与引当金	2,640	1,284
役員賞与引当金	72	16
その他	18,510	17,713
流動負債合計	72,382	69,451
固定負債		
長期借入金	1,468	820
環境対策引当金	111	111
退職給付に係る負債	15,937	15,899
その他	3,207	3,419
固定負債合計	20,724	20,249
負債合計	93,107	89,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,320	23,341
資本剰余金	26,943	26,963
利益剰余金	166,242	167,980
自己株式	△14,118	△17,021
株主資本合計	202,388	201,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	301	368
為替換算調整勘定	8,936	14,261
退職給付に係る調整累計額	△2,414	△2,282
その他の包括利益累計額合計	6,823	12,347
新株予約権	93	83
非支配株主持分	451	468
純資産合計	209,758	214,164
負債純資産合計	302,865	303,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	62,377	69,497
売上原価	45,322	52,435
売上総利益	17,055	17,062
販売費及び一般管理費	10,649	11,668
営業利益	6,405	5,393
営業外収益		
受取利息	33	38
受取配当金	249	89
固定資産売却益	0	0
為替差益	223	1,356
受取保険金	1	83
その他	98	111
営業外収益合計	606	1,679
営業外費用		
支払利息	32	53
固定資産売却損	2	17
固定資産除却損	26	48
支払補償費	5	3
その他	9	18
営業外費用合計	77	142
経常利益	6,935	6,931
特別利益		
投資有価証券売却益	13	-
負ののれん発生益	283	-
特別利益合計	296	-
税金等調整前四半期純利益	7,232	6,931
法人税、住民税及び事業税	1,220	1,144
法人税等調整額	532	616
法人税等合計	1,753	1,761
四半期純利益	5,479	5,169
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,478	5,159

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	5,479	5,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	66
為替換算調整勘定	4,541	5,330
退職給付に係る調整額	120	133
その他の包括利益合計	4,667	5,530
四半期包括利益	10,146	10,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,145	10,683
非支配株主に係る四半期包括利益	0	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,229	22,592	8,555	62,377	—	62,377
セグメント間の 内部売上高又は振替高	21	14	3,156	3,192	△3,192	—
計	31,250	22,606	11,712	65,570	△3,192	62,377
セグメント利益	757	4,903	729	6,390	14	6,405

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,550	22,266	8,680	69,497	—	69,497
セグメント間の 内部売上高又は振替高	19	7	3,445	3,472	△3,472	—
計	38,570	22,273	12,126	72,970	△3,472	69,497
セグメント利益又は損失(△)	382	5,023	△27	5,378	14	5,393

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。